



八小だより

武蔵村山市立第八小学校 令和3年11月1日

<http://www.city.musashimurayama.lg.jp/mmced8s/index.html>

教育目標

◎ 考える子

- 思いやりのある子
- やりとげる子
- 礼を重んずる子

行動目標

わけをそえて話すことができる子
教室で話しているのは一人

正解のない課題に取り組むために

副校長 植 杉 義 久

私が息子に携帯ゲーム機のDSを買ったのは、息子が幼稚園の年長時でした。息子の友達は、年少、年中時からゲーム機を持っていましたが、私は、「幼稚園の時からゲームを与えるとゲームばかりする子どもになるから小学生までは購入しない。」と考えていました。ある日、息子が制作した工作が家に置いてあり、よく見ると空き箱で作ったDSでした。コントローラーやボタン、画面にはキャラクターが描かれていました。絵ですから、ボタンを押した手応えはありませんし、画面のキャラクターは動きません。私はその工作をじっくり見つめて「工作で作るほどDSがほしいのか。それなのに私には一言も欲しいと言わない、何といじらしい。DS手にしたらとても喜ぶだろうな。」などと思ってしまい、数日後に買ってしまいました。まだ、小学生になっていないのに。

それから15年経った今では、耳にコードのないイヤホンを着け、画面に向かって誰かと会話しながらゲームをしています。テーブルの傍らに置いたスマートフォンの画面をチラチラ見ながら。誰と何をしているのかさっぱり分かりません。

携帯電話は、高校生までは購入しないと考えていました。しかし、高校受験が終わり、進学先が決まった3月には、「受験勉強よく頑張ったな。」などと思ってしまい、高校生を待たずに買ってしまいました。今では、風呂にまでスマートフォンを持ち込みます。

今でも、私のこの時々の決断は正しかったのか、考えてしまいます。

公立学校の学習は、国が定めた学習指導要領の内容や指導事項を、国が検定した教科書を中心に使用して進めていきます。学校での「校内のきまり」などは、他人同士が集団生活をする上で大切にすべきことを中心に考えられています。このように、学校教育には進むべき道を示す羅針盤があります。一方、子育てには正解がありません。例えば、「人様に迷惑を掛けない子どもに育てよう。」とか「思いやりをもってほしい。」と考えて子育てを実践しても、理想通りにいかない場合があります。子供を褒める言葉を増やす、ゲームの時間を1時間にするなど改善策を誰かが提示してくれるわけではありません。ですから、保護者の方は、日頃からお子様の成長に喜びを感じながらも、悩み、苦しむこともあるのだらうと思います。

そんな家庭教育と学校教育との共通点は、どちらも「子供たちの輝かしい未来を考えている。」ということです。だからこそ家庭でしかできない教育、学校でしかできない教育、2つが力を合わせることで効果が上がると考えています。家庭教育では、私が体験談で挙げたゲームや携帯電話、スマートフォンなどの扱い方もお願いしたい内容です。今は持っていないとしてもスマートフォンなどは、今後所持する可能性は高いものですので、購入する時期や使い方、管理方法を含めてぜひ、御家庭で検討してください。また、アプリやデータのチェックやフィルタリングの設定など、犯罪からお子様を守ることもお願いいたします。子どもの健全育成には、家庭と学校だけではなく地域との連携・協力も大切です。地域には、子ども家庭支援センターや教育相談室があり、お子様の成長や子育ての相談をすることができます。

今月の学習発表会舞台発表部門では、学校でしかできない教育を展開して参ります。自主練習や意欲向上に御家庭の御協力をいただけると幸いです。